



# JICA 筑波 高校生国際協力実体験プログラム 2024

誰一人取り残さない社会を目指して！  
～ 多様な人々との共生を考えよう～



多文化共生をテーマとして、大学教員による導入講義、より良い社会のために活動する方々の経験談、アクションプランワークショップ、同じ思いや関心を持つ他校の生徒とのディスカッションを通して、多様性や個性を認め合える社会について考えます！

2024年 **12月14日** (土) 9:30 - 16:00 (予定)

**会場** とちぎ国際交流センター（栃木県宇都宮市本町 9-14）

**対象定員** 栃木県内の高校生 40 名程度

**参加費用** 昼食代と会場までの往復交通費

**申込方法** オンライン申込フォームまたは E メールによる申込書送付

**申込〆切** 11月13日（水）17時必着

詳細は裏面をご参照ください。

主催：独立行政法人国際協力機構（JICA）筑波センター

栃木県



独立行政法人国際協力機構（JICA）は  
持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

## プログラムの目的と学び

目的:多様性や個性を認め合い、すべての人が尊重される社会を意識する態度を身につける。

- 文化や価値の多様性に対する理解を獲得する。
- 多様な人々とのコミュニケーションや関係を築く方法を考えられるようになる。
- 多様な人々が共生できる地域社会や学校を創るアクションプランを作成できるようになる。

## 参加条件

1. 栃木県の高等学校・中等教育学校に通学する現役高校生で、参加に関して保護者の同意が得られる方。
2. 成人引率者(教員が望ましい)を用意できること。
3. 原則として1校につき生徒2名以上4名まで、引率者1名の参加とします。

※個人で応募を希望する方や4名を超えての参加を検討される場合は、ご相談ください。  
※引率教員の方には、ワークショップでの参加者への助言や支援等をお願いする予定です。

## 参加費用

昼食(または昼食代)、会場までの交通費

## 事前・事後課題

事前	[必須]	選考後に送付する事前課題への取り組み、JICA 事業に関する動画の視聴
事後	[必須] [推奨]	アクションプランの実践成果を動画やPPTで提出(2025年3月中旬締切予定) JICA 筑波の一般公開での成果発表(2025年4月中旬～下旬頃予定) JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2025 への応募

## その他

- 実施期間中(自宅～とちぎ国際交流センター往復含む)の負傷、事故については当センターでは責任を負いかねますので、不測の事態への対処として保険加入などをご自身でお願いいたします。
- プログラムで撮影した写真・映像は JICA 事業の紹介やプログラム広報のためにホームページ・SNS や冊子で公開されることがあります。参加希望者にご説明、ご了承のうえ、お申し込み下さい。

## 申込方法および申込締切

**2024年11月13日(水) 17:00 必着**

オンライン申込フォームからお申し込みいただくか、ご記入済の申込書(JICA 筑波ウェブサイトダウンロード可)をEメールでお送り下さい(担当/引率教員がまとめてお申し込みください)。

※多くの学校に参加していただく観点から、定員を超えた場合は、担当者へ参加生徒数の調整をお願いする場合がありますので、予めご了承ください。

※上記の方法でのお申し込みが難しい場合、ご相談ください。

## 参加決定通知

**2024年11月19日(火)(発送予定)** ※決定通知と合わせて事前課題をご案内します。

## 【申込送付先・問い合わせ先】

JICA 筑波 国際協力講座 運営事務局(担当:山元)  
E-Mail [jica.tbic.idcourses@glminstitute.org](mailto:jica.tbic.idcourses@glminstitute.org)  
TEL 03-6403-0565

所在地:〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館5階  
特定非営利活動法人ジーエルエム・インスティテュート内(事務委託先)

# プログラム(予定)

## プログラム概要

今年の高校生国際協力実体験プログラムでは、多様性や個性を認め合い、すべての人が尊重される社会の実現のために「自分は何ができるか」を考えます。多文化共生への理解を深め、実際に取り組んでいる方々の経験からヒントを得て、自分たちの地域や学校でできるアクションプランを描き、発表を行います。

## タイムテーブル

09:00	受付開始
09:30	開会挨拶・プログラム説明・スタッフ紹介
09:45	自己紹介・事前課題の共有
10:00	多文化共生の導入講義 講師:アギーレ・ヘレーラ・マリエル・ナルミ さん(宇都宮大学 講師) 外国にルーツを持つ子どもの言語や多文化共生を専門とする、自身もペルー出身の大学教員による講義とワークショップを通じて、多文化共生の定義や考え方、これからの社会での重要性について学びます。
11:40	多文化共生に取り組む人の経験談「行動している人の話を聞いてみよう！」 講師:高山 由貴 さん(栃木県立学悠館高等学校定時制 日本語指導支援員/非常勤講師「にほんご」担当) ※元海外協力隊(ベネズエラ/青少年活動) 栃木県で日本語教育や外国にルーツを持つ青少年の支援に携わってきた高山さんから、多文化共生に取り組むきっかけや活動内容、経験について話を聞きます。
12:30	昼食
13:20	多文化共生と JICA JICA が多文化共生でどのような役割を担っているのか、世界と日本でどのような働きをしているかを紹介します。
13:40	多文化共生と栃木県国際交流協会 会場となる栃木県国際交流協会から、どのような事業を行っているのか紹介します。
14:00	アクションプラン作成ワーク ~多様な人々の共生のために私たちができること~ 多様な人々が共生できる地域社会や学校を創るために、「私たち」やその周りで実践できるアプローチを考えてみよう！
15:10	グループ発表
15:40	まとめ・閉会挨拶
16:00	終了

※適宜休憩を行います。また、プログラム内容は変更になることもあります。ご了承ください。  
※事後課題では、学校ごとにアクションプランに基づいたポスターなどの作成・発表をお願いする予定です。

# 高校生国際協力実体験プログラム 2024(栃木県)申込書

## 申込みフォーム

以下の URL または右の QR コードにアクセスしてください。

<https://forms.gle/RSjsj13mp3VaF22U6>



E メールでのお申し込みの場合、こちらの申込書に必要事項をご記入いただき、PDF 等の添付にてご提出をお願いいたします。

**※印記入必須** チェックをいれて下さい ⇒  募集要項の内容を承諾のうえ、参加を申し込みます

※引率教員の方には、ワークショップでの参加者への助言や支援等をお願いする予定です。

※ご記入いただいた個人情報プログラム運営に必要な範囲においてのみ使用いたします。また、情報の取り扱いには主催者及び事務局のみとし、第三者には一切提供いたしません。

ふりがな			
※学 校 名			
※連 絡 先		〒	
		TEL	FAX
※担当教員	※ふりがな	※緊急連絡 (引率者の携帯電話など)	
	※氏 名		
	※Eメール		
※引率者	<input type="checkbox"/> 担当教員と同じ <input type="checkbox"/> 担当以外(氏名: /連絡先: )		
交通手段	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> 送迎 <input type="checkbox"/> 自転車・徒歩 <input type="checkbox"/> その他( )		

### ◆参加生徒名◆

①	※ふりがな	※学年	年	※性別	男・女
	※氏名				
②	※ふりがな	※学年	年	※性別	男・女
	※氏名				
③	※ふりがな	※学年	年	※性別	男・女
	※氏名				
④	※ふりがな	※学年	年	※性別	男・女
	※氏名				

**申込締切:2024年11月13日(水) 17:00 必着**

※多くの学校に参加していただく観点から、定員を超えた場合は、担当者へ参加生徒数の調整をお願いする場合がありますので、予めご了承ください。

【申込送付先・問い合わせ先】

E-Mail [jica\\_tbic\\_idcourses@glminstitute.org](mailto:jica_tbic_idcourses@glminstitute.org)

TEL 03-6403-0565

JICA 筑波 国際協力講座運営事務局 担当:山元